

10月25日、菓子コースのメンバー「康楽苑」へ訪問

苑内喫茶での注文を頂き、ロールケーキと2色団子（ずんだ・しょうゆ）を作り当事者4名と指導員2名で行って参りました。

今回は、「康楽苑」職員の方々に老人と当事者達との交流を快諾していただき、ハロウィンクッキー（かぼちゃおぼけクッキー）を持っての参加でした。

2時から始まったお茶会では、お揃いのエプロン姿でお菓子や飲み物をテーブルに運び、時々介護士の方にも手伝っていただきながら4人全員一生懸命配っていました。

施設職員のチェロとピアノ演奏が始まり、皆で顔を描いたクッキーもお年寄り一人ひとりへプレゼント、ボランティアで参加のパイロットクラブの皆さんにもプレゼントをして喜んでいただきました。

司会の方から、お礼の挨拶と私たちの紹介があり、参加した6名一言ずつあいさつする場面もあり、当事者4人ともマイクを手に話していました。

この日のチャレンジド振り返りの時間（反省会）では、「ありがとう」と言ってくれるお年寄りがいて感動した、励みになった、また訪問したいと話していました。

初めての老人ホーム訪問でしたが、とてもいい経験になったようです。

お団子は、老人の口に入りやすい様当事者達が一個ずつ計って小さく揃え、試行錯誤して作りたての状態を保つようになりました。醤油やずんだあんも手作りで好評でした。

イーハトーヴのお菓子は、皆様からの意見を参考にレポートリーも少しずつ増えてまいりました。

菓子コースある当事者の方が「今日の目標」で、“口に入れて喜ばれるように愛情をこめて菓子を作る”と話されていました。私がお菓子を長く続けてこられたのも喜んでもらえる人がいたからかもしれません。これからもお菓子を通じて新しい出会いを期待したいところです。

担当： 伊藤悦子



クッキー生地南部一郎かぼちゃも一部練りこみま

